

議事録

平成24年度 伊奈学園同窓会
第1回 理事会

作成日 平成24 年 8 月 1 日

議題	伊奈学園同窓会 平成24年度活動計画(案)など		
日時	平成 24 年 7 月 8 日	作成者	渡辺 敏光(7期)
場所	大宮駅西口 宇宙劇場5階第1集会室、及びマロウドイン大宮1階		
出席者	執行部:原(1期)、針谷(1期)、渡辺(2期)、村松(4期)、石川(8期)、岩崎(9期)、早坂(13期)		
	年次理事:船崎(2期)、氏家(3期)、久森(3期)、武井(3期)、城口(4期)、畠山(6期)、		
	渡辺(7期)、菅原(8期)、鈴木(19期)、オブザーバー:佐藤(11期) 以上17名		

議事

・伊奈学園同窓会執行部副会長の村松が議長として出席者の確認をした後、開会を宣し議事に入った

・議事に入る前に執行部より同窓会ホームページ上にて同窓会人事に関して誤った掲載があり、

この件に関して出席者並びに関係者に対し謝罪した

・また、理事会開始直後に3期生の年次理事である武井、及び氏家の2名から新議事の提案があった
新議事については「その他」の項目にて詳細を記す

・平成23年度・決算(案)及び平成24年度・予算(案)ー針谷(1期)

●平成23年度の同窓会の収入、支出内容、事業費の主な使用用途の報告 ・決算書類参照

質疑:創立30周年記念事業の費用は学校側から500万円までしか要請されていないにも拘わらず
さらに150万円多く計上する必要があるのか。金額を抑えるべきでは?

回答:非常時に備えて学校側の要請に応じられるようににするため。

創立30周年事業の費用の増額に対する議決は賛成多数により、可決した。合わせて予算案も可決。

・会報誌制作状況報告ー早坂(4期)

●同窓会会報誌び発行を年2回から1回への変更、それに伴い配布対象を卒業後10年から改め、
全卒業生向けとし約20000部を発行する

質疑:同窓会会報誌を無償で2万部を配布するのは如何なものか?またこれは決定事項であるのか?

一度、無償で2万部を配布した後はどうしていくのか?

回答:決定事項であり、一先ず2万部を配布した上で今後の希望者を募った上で様子を見る。

・創立30周年記念事業についてー原(1期)

●創立30周年記念事業についての進捗状況や事業人事に関する報告 ・別紙参照

質疑:もし仮に会長、及び現執行部が何らかの形で変更があった場合は、どのように創立30周年
事業の人事は交代するのか?

回答:創立30周年事業に関する組織人事は、同窓会とは別組織であり、これに関与するPTA組織や、
学校後援会組織、ならびに学校組織に対して調整する連絡をする必要があり、同窓会組織の一存では、

決めることが出来ないため仮に同窓会内で人事変更があっても、そのまま継続する。

・同窓会名簿管理報告－村松(4期)

●会員名簿更新の報告

・別紙参照

・『先輩と夢を語ろう』の活動報告－石川(8期)

●平成23年度の第3回『先輩と夢を語ろう』(平成22年11月5日開催)の実績報告

●平成24年度の第4回『先輩と夢を語ろう』(平成24年11月13日開催予定)の進捗状況の報告

・ホームカミングパーティーの開催報告－石川(8期)

●第3回ホームカミングパーティー(平成23年9月24日開催)の実績、及び次回への改善点の報告

・2012年第2回いなじんたまりBarの開催報告－畠山(6期)

●第2回いなじんたまりBar(平成24年5月26日開催)の実績報告

・年次理事活動補助金制度見直し及び会議費について－渡辺(2期)

●過去2年にわたり、この制度を運用する目的で同窓会が開催された実績が無いために見直し
必要があるのではないか。

●会議費補助費は一人あたり3,000円まで。飲酒は自己負担とする(6月10日の常任理事会にて承認)

見直し案は以下の通り→A:上限の撤廃、B:適用範囲を広げる、C:制度の撤廃

議決内容:見直しに関しては、賛成多数にて可決、また会議補助費3,000円に関しては、金額を
見直し、今後検討することになった。

・その他

・尚、本日協議した議案とは別に3期生・年次理事である武井、氏家の2名から提起された新議案、
並びに要望は現同窓会会長の1期生と原、及び現執行部への不信任案である。

不信任案を求める理由は以下の通り。去る平成24年2月19日に開かれた平成23年度 第2回
同窓会理事会にて協議され、議事録の記載にはなく、承認されていない人事案が可決されたという
解釈が執行部側にあり、一時的とはいえども、当日の理事会にて承認されなかった人物が
同窓会のホームページにて新たな常任理事の一人として加わったと紹介されていたこと。

・このことを鑑みて同窓会執行部の人員の資質とそして執行部の機能に疑問があること。

それを改善するには同窓会会長である1期・原の退任、そして現同窓会執行部の人員が退任し、
同窓会執行部の人員刷新の必要であること。

・これに対して同窓会会長・原、並びに同窓会執行部は謝罪をし、執行部のチェック機能の強化
(例として書記の増員など)などの改善案を提示するが、話の解決を見出せなかったため、本同窓会
規定の第17条に基づき現執行部、及び現会長である1期生・原の不信任案を問う決を諮ったが、
賛成派少数で否決した。

・議案の議決

●議長は本総会の議案の可否を議事に諮ったところ以下の参加者多数の賛成により可決した

●可決した議案は、以下の通り→平成24年度予算案、平成24年度人事案

なお、会議費の案は否決、年次理事補助金制度の見直しに関しては次回以後に再度審議

●常任理事候補に6期・島山、会則検討委員会委員長に4期・城口→決を諮ったところ共に可決

●ホームカミングパーティ実行委員会委員長は欠員

上記の内容を報告、質疑応答の後、同窓会活動のさらなる改善点や課題点を話し合い、

本総会は終了した